

喫食状況が子どもの食事に与える影響

—小学校における給食の食べ方の調査から—

丸山 浩徳*, 加藤 恵一**, 西村 敬子

1. はじめに

近年、「食」をめぐる問題が多く取りあげられ、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向、偏食や朝食欠食による栄養不足やバランスの悪い食生活、食品の安全・安心など「何をどれだけ食べるのか」という身体の健康・栄養に関する問題点が多くの人々から指摘されている。しかし「食」はトータルで考えることが重要であり、栄養素についてだけでなく「誰と・どのように食べるのか」という食事をする環境についても考える必要がある。私たちが普段食事をする際、数人で話をしながら食べる食事や一人で食べる食事、テレビを見ながら食べる食事など様々なスタイルがある。この様なスタイルの中で、何かをしながら食べる「ながら食べ」や、ひとりで食べる「孤食」等が社会問題となっている。

子どもの食環境は大人に影響され、子どもたちが家族と共に楽しく食事をしたいと望んでも、親が不在であったり、家にいても家事などを行っているために共に食卓を囲むことができず、仕方なく「孤食」または「子食」になってしまう状況も見られる。一方で、怒られながら食べることを避けたいと思ったり、好きなテレビ番組を見ながら食べたいために「孤食」を望む子どももいる。成長・発達過程にある子どもたちにとって、「孤食」が栄養素摂取の偏り、家族とのコミュニケーション不足、精神的な不安などの心理面・精神面に与える影響を見過ごすことはできない。

そこで本研究では、子どもたちにとってどのような食べ方が望ましいかを探るために、①班で机を合わせて会話をしながら食べる給食（以下グループ給食とする）、②誰とも話をせずに食べる給食（以下無言給食とする）、③テレビを見ながら食べる給食（以下テレビ給食とする）を実施し、食事に要する時間と子どもたちの意識を調査した。

2. 研究方法

2.1 調査日

本調査は 2009 年 12 月 17 日（月）、19 日（水）、20 日（木）に行った。

2.2 調査日の給食メニュー

調査日の給食メニューは表 1 に示す通りである。3 日間の給食として、できるだけよく似たごはんを主食とした献立日を選択した。

表 1 給食のメニュー

12月17日(月)	ご飯	五目煮	サーモンフライ	三色和え
12月19日(水)	ご飯	豆腐の中華煮	チヂミ	パンパンジーサラダ
12月20日(木)	ご飯	つみれ汁	焼肉風炒め	甘夏みかん缶

* 本学大学院修了生, ** 知立市立知立西小学校

2.3 調査対象者

調査対象としたのは知立市立知立西小学校の児童 103 名である。その内訳は表 2 に示す通りである。低・中・高学年の違いを見るため、1・4・5 年生を調査対象とした。有効回答率は 1 年生 89.7%、4 年生 86.1%、5 年生 86.8%であった。

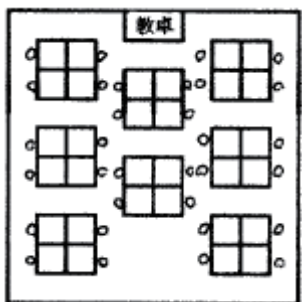
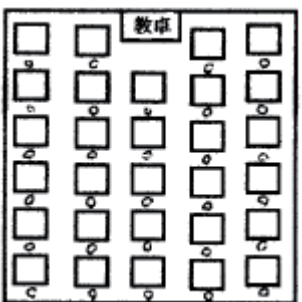
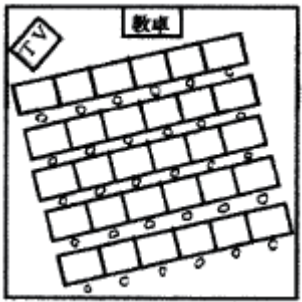
表 2 調査対象者内訳 (単位 名)

	1年	4年	5年	合計
男子	13	17	17	47
女子	16	19	21	56
合計	29	36	38	103

2.4 調査方法

(1) 給食の食べ方の調査

給食の食べ方の違いによる所要時間、感想を見るための調査方法は以下の通りである。

① グループ給食 (班で机を合わせて食べる給食)	② 無言給食 (話をしないで食べる給食)	③ テレビ給食 (テレビを見ながら食べる給食)
図 1 に示すように、班で机を合わせ自由に会話をしながら給食を食べる。いつも食べているスタイルである。	図 2 に示すように、机を黒板に向けて一定の間隔をあけ、誰とも会話をせずに給食を食べる。	図 3 に示すように、机をテレビに向け、学芸会の様子が放映されるテレビを見ながら給食を食べる。
図 1 	図 2 	図 3 

給食当番が全員に配膳した後、「いただきます。」の合図で食べ始めた。そして、子どもたちが各スタイルで給食を食べ終わった時間から喫食所要時間を算出した。給食を食べ終わった直後にアンケート調査 I、II、III を行い、食べ方の違いによってどのような感想をもったのか調査した。さらに最終日には、子どもたちが給食の時間や家庭の食事をどうとらえているのかを知るためにアンケート調査 IV を行い、子どもたちが食事を楽しむ要因を調査した。

(2) アンケート調査内容

アンケート調査 I、II、III、IVの内容は資料 1、2 に示す通りである。

3. 結果及び考察

3.1 喫食所要時間

子どもたちが各スタイルで給食を食べ終わるまでに要した時間を図 4 に示した。

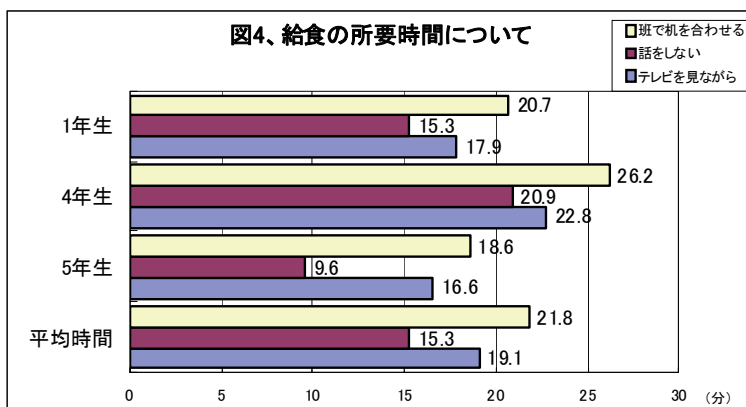


図 4 に示すように、どの学年においても無言給食の場合の喫食時間が短く、次いでテレビ給食であり、グループ給食の喫食時間が最も長かった。特に 5 年生では無言給食の喫食所要時間がグループ給食の約 1/2 であった。テレビを見ながら食事をすると手の動きが止まり、喫食時間が長くなると考えたが、本調査ではグループ給食の喫食時間の方が長かった。

3.2 アンケート調査結果

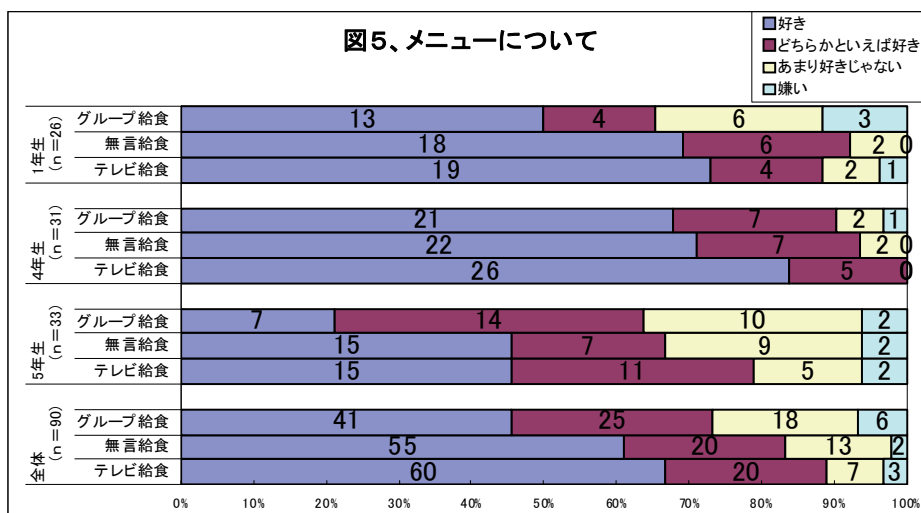
(1) アンケート調査 I、II、III

各スタイルで給食を食べた直後にアンケート調査を行い、子どもの感想を見た。

(グラフ内の数値は人数である)

① メニューについて

給食のメニューの好き嫌いについて、子どもたちの感想を尋ねた結果を図 5 に示した。



3日間のメニューの好き嫌いについて質問したところ、図5に示すようにどの場合も60%以上の子どもたちが好き（「好き」＋「どちらかといえば好き」）と回答した。

② 給食を食べた量について

給食を食べた量をどのように自己評価したのか尋ねた結果を図6に示した。

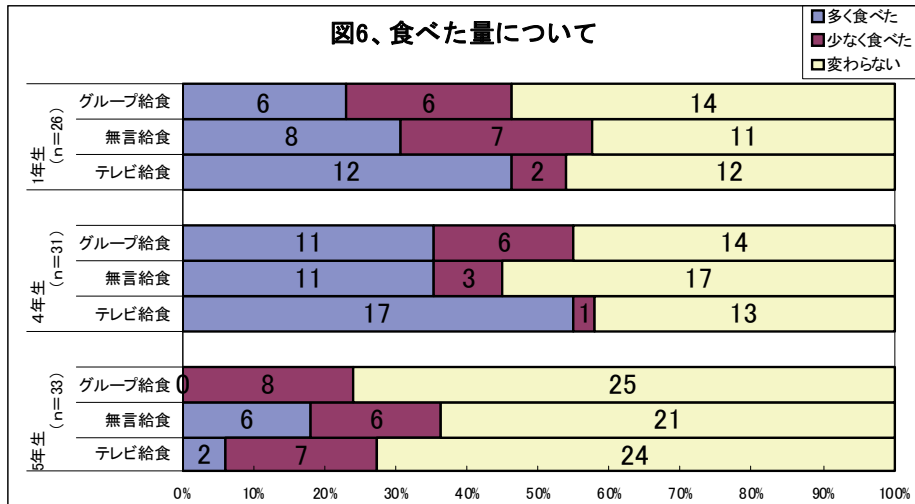


図6に示すように、どのスタイルの給食でも「いつもと変わらない」と回答した児童が5年生に多かった。「いつもより多く食べた」と回答した児童は4年生に多く、特にテレビ給食に多かった。1年生はグループ給食より無言給食、さらにテレビ給食の場合に多く食べたと評価していた。

③ 給食を食べるのにかった時間について

給食を食べ終えるまでに要した時間をどのように感じたのか尋ねた結果を図7に示した。

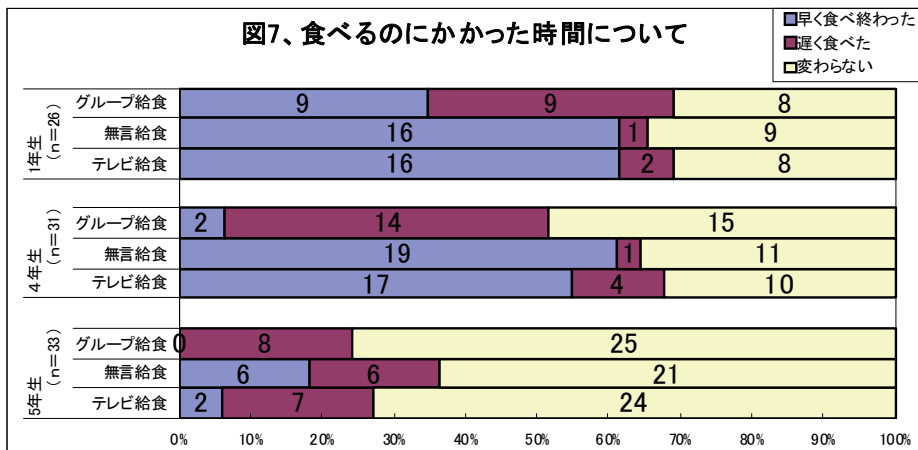


図7に示すように、1年生と4年生において無言給食・テレビ給食の場合に「いつもより早く食べ終わった」と回答した児童が多かった。これは、友だちとの会話がないため食べることに集中したと感じたのではないかと考えられる。実際の所要時間を見ても通常スタイルであるグル

ープ給食より短くなっており、実態と感じ方が一致していた。無言給食とテレビ給食ではテレビ給食の所要時間がかかっているのに、「いつもより早く食べ終わった」と回答している児童が同じ位いた。これは、テレビを見ることで会話が少なくなったことや、時間が早く過ぎるように感じたためではないかと考えられる。

5年生は「いつもと変わらない」と回答した児童が多かった。しかし、実際の所要時間を見ると、無言給食の場合の所要時間はグループ給食の1/2であり、実態と感じ方にギャップのあることがわかった。

④ 食べた時の雰囲気について

給食を食べた時の雰囲気についてどのように感じたのか尋ねた結果を図8に示した。

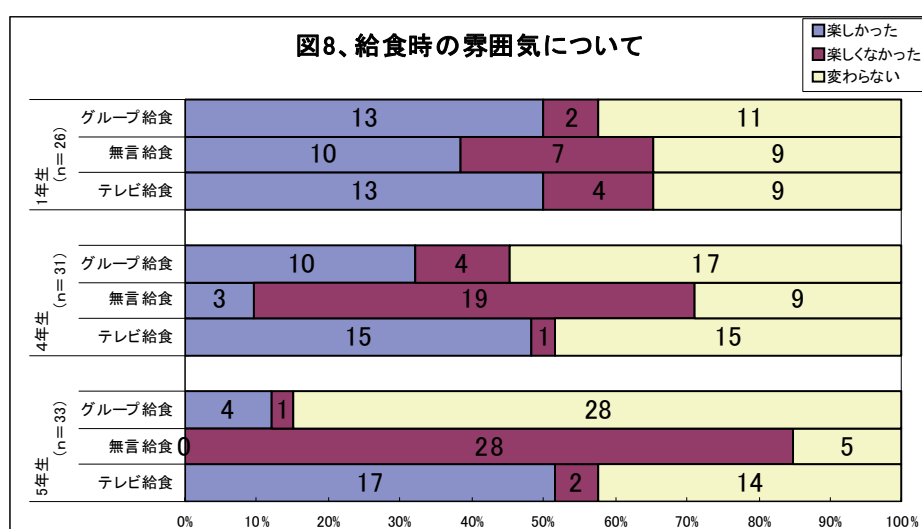


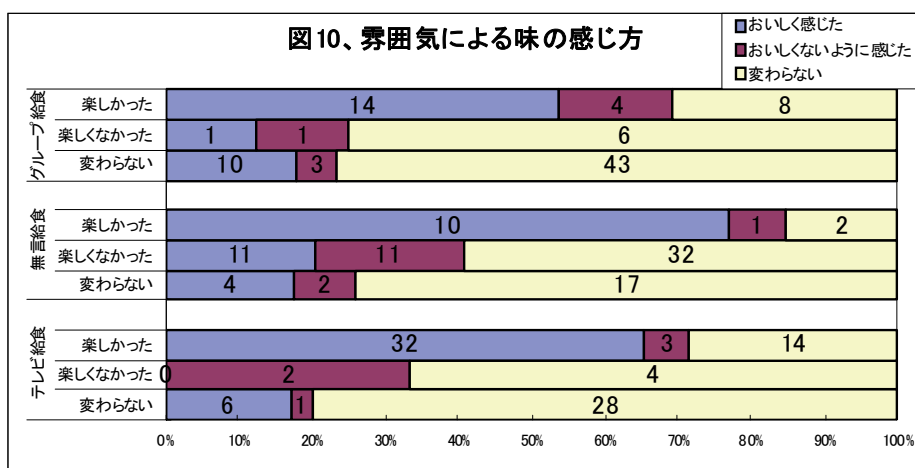
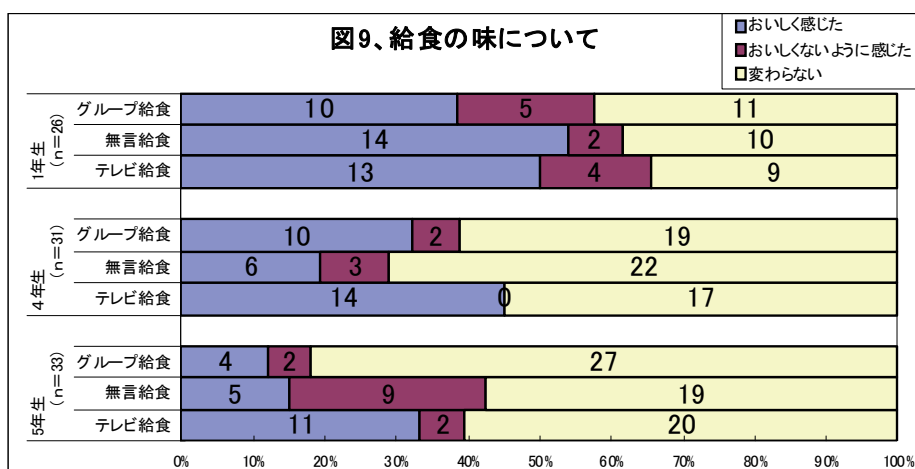
図8に示すように、4、5年生は食べ方によって楽しさに差を感じており、「楽しくなかった」と多くの児童が回答した。特に5年生は、85%が無言給食を「楽しくなかった」と回答した。このことから、高学年になるほど食事における会話の有無による受け取り方が敏感になり、そのことが給食の楽しさに影響を与えていることがわかる。また、どの学年もテレビ給食が「楽しかった」と回答した児童は約50%いた。しかし1年生は無言給食であっても「楽しい」と回答するものが多く、グループ給食やテレビ給食との差は見られなかった。1年生にとっては給食自体が楽しいものであり、4、5年生にとっては楽しくない無言給食も1つのイベントと捉えられ、非日常の経験として楽しく感じられたのではないかと考えられる。

⑤ 給食の味について

給食の味についてどのように感じたのか尋ねた結果を図9・10に示した。

図9に示すように、1年生はどの食べ方の場合でも「おいしく感じた」と回答した児童が40～50%いた。4、5年生には他の食べ方に比べてテレビ給食の場合に「おいしく感じた」と回答した児童が多く見られた。

図 10 に示すように、給食を食べた際の楽しさと味のかかわりを見たところ、どのスタイルで食べても雰囲気は『楽しかった』と回答した児童は味を「おいしかった」と答える割合が高かった。楽しく食べることとおいしいものを食べることは一体不可分であることが再確認された。



⑥ 給食の感想について（自由記述）

自由記述による給食の感想を、味、時間、雰囲気（たのしさ）について、及びその他の4つに分類した。その結果を図11に示した。

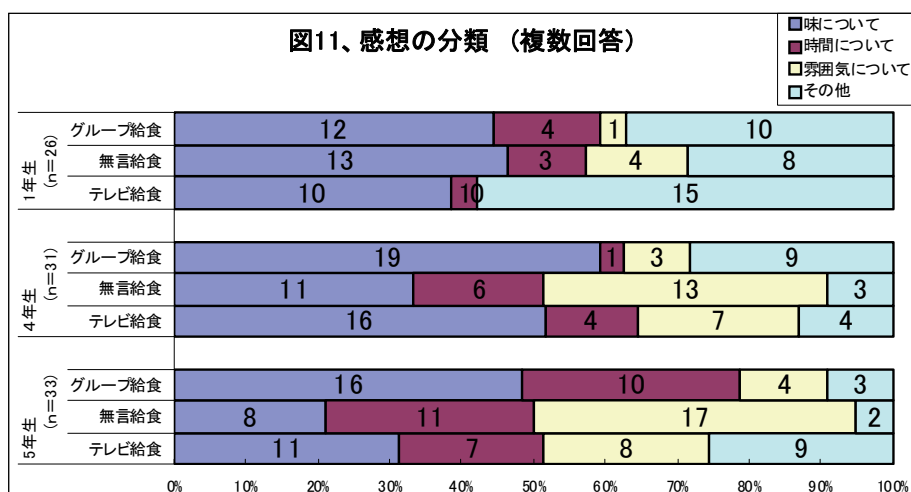


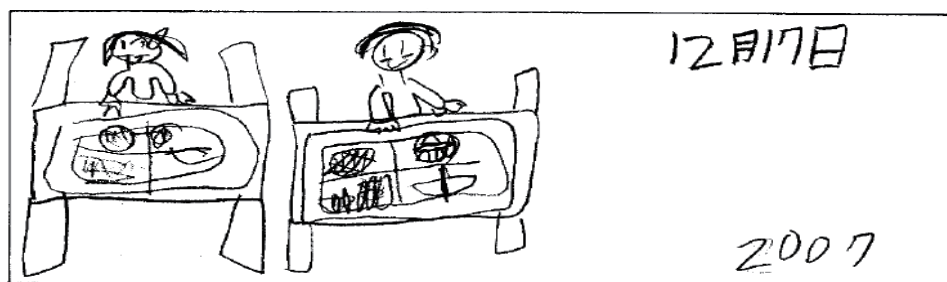
図 11 に示すように、食べ方のスタイルに関わりなくどの学年も味について言及する児童が多かった。

無言給食で食べた場合の雰囲気について「楽しくなかった」と回答した児童の感想には「今日はしゃべってはいけないのでつまらなかった」(1年生)。「今日のことをたくさんしゃべって楽しく食べたかった」「学校なのに家の気分になった」「しゃべらないと食べづらく感じた」(4年生)。「話をしないと食欲がなかった」「しゃべらないと楽しくない」「だまって食べるので味わって食べた。しかしつまらなかった」(5年生)等の意見が見られた。

無言給食で食べた場合の味について「おいしくないと感じた」と回答した児童の感想には「みんなとしゃべらずに食べたなら好きなものもおいしくなった」「班で食べたほうがおいしく感じる」(4年生)。「しゃべらないとおいしくないように感じた」「1人で食べてもおいしくない」「しゃべらないと寂しくておいしくない」(5年生)等の意見が見られ、「孤食」になり1人で食べることで料理の味を「おいしくない」と感じる事がわかり、「孤食」で食べる事が続くと、食べる事が嫌いになってしまったり、嫌いなものは食べないで済ましてしまう危険性の増える可能性がある。

テレビ給食で食べた場合の雰囲気について「楽しかった」と回答した児童の感想には「いつもよりたのしく食べれた」(1年生)。「テレビを見ると笑って食べるのが楽しい」「テレビとご飯がすすんだ」(4年生)。「テレビを見てそのことで友だちと話をして楽しかった」(5年生)等の意見が見られ、普段の給食では食べない食べ方ということもあるが、テレビの楽しさが給食をおいしく、楽しく引き立たせており、近年の子どもたちの生活にはテレビが必需品となっていることが伺える。

テレビ給食で食べた場合の味について「おいしかった」と回答した児童の感想には「テレビを見ながら食べたならおいしかった」「いつもより早くおいしく食べれた」(4年生)。「給食がいつもよりおいしく感じた」「テレビが楽しくておいしかった」(5年生)等の意見が見られ、テレビの存在が味にも影響を与えている。しかし、「テレビに集中してしまい味がわからなかった」(5年生)という感想も見られ、テレビを見ながら食べると食事を味わって食べる事ができなくなることも示している。1年生には給食の感想として資料3・4・5のように絵で示すものが約半数いた。自分たちが食べている様子や配膳されたトレーの絵を描いたものが多かった。



資料3 1年生の感想絵 (グループ給食)



資料4 1年生の感想絵 (無言給食)



資料5 1年生の感想絵 (テレビ給食)

(2) アンケート調査IV

① 自分に1番あった食べ方について

3日間の調査最終日に、グループ給食、無言給食、テレビ給食の食べ方を振り返り、どの食べ方が自分に1番あうか尋ねた結果を図12に示した。

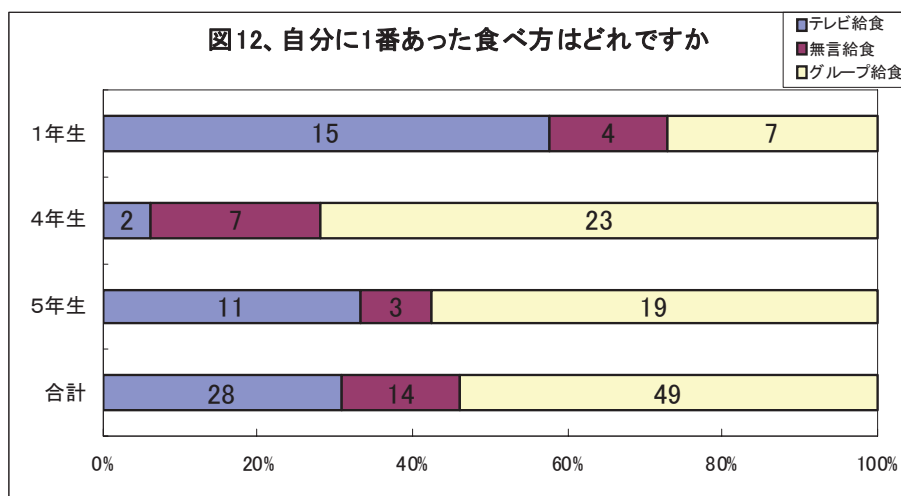


図12に示すように、1年生ではテレビ給食の食べ方が1番あうと解答した児童が多く、約60%を占めていた。その理由として「テレビが好きだから」、「テレビだとおいしく食べれる」「テレビ

を見ながら食べても早く給食が食べれたから」という意見があげられ、食べることよりもテレビを見ることに興味が強いと考えられる。

4年生と5年生ではグループ給食が1番あうと回答した児童が多く、その理由として「友だちと話して食べたほうが楽しく食べられるから」「テレビに集中してしまっただちと話せなくなるから」「会話がなくて給食が楽しくないから」等の意見があげられた。高学年になるにつれて食事の時間を大切なコミュニケーションの場と考える児童が多く見られた。

無言給食の食べ方が1番あうと回答した児童に「話をすると食べるのが遅くなってしまう」「早く食べることができるから」という意見が多く見られ、限られた時間の中で残さず食べなければいけないと感じている児童の姿が伺えた。

② 家で食べる食事と給食の楽しさの比較

家で食べる食事と学校で食べる給食では楽しさに違いがあるかどうか尋ねた結果を図13に示した。

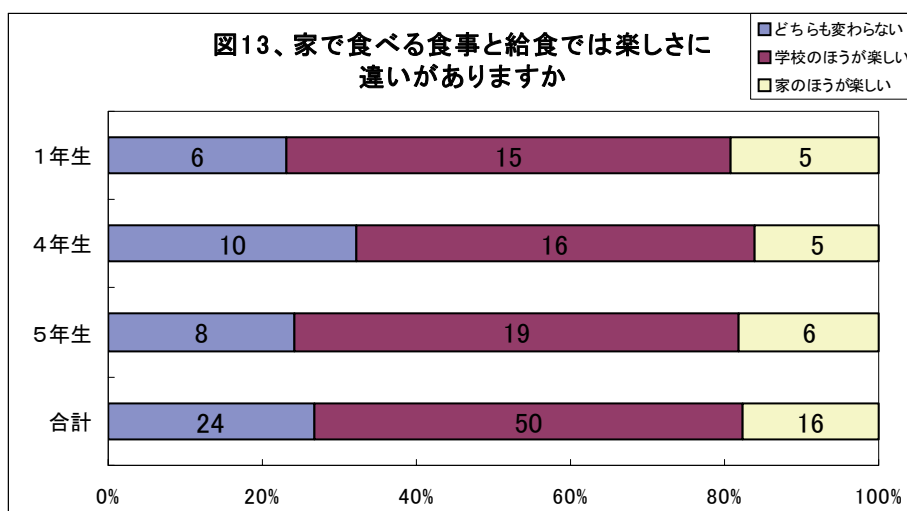


図13に示すように、各学年ともに「学校のほうが楽しい」と回答した児童が50%以上いた。家のほうが楽しいと回答した児童の意見には「テレビが見られるから」「おうちの人と話ができるから」(1年生)。「学校のことを話すから家のほうがいい」「楽しいテレビが見られる」(4年生)。「テレビやゲームができる」「家族と話ができる」(5年生)等の意見が見られ、テレビの有無や家族との会話を重要視する児童の姿が伺えた。

学校のほうが楽しいと回答した児童の意見には「家だとおこられるから」「友だちといっしょにたべられるから」(1年生)。「家ではテレビの話しかしないから」「家では無言だけど学校では会話があるから」「友だちのほうが話があう」(4年生)。「友だちと話ができる」「みんなで食べているから」(5年生)等の意見が見られ、友だちと共通の話題を話しながら給食を食べるほうが楽しいと感じる児童や、家で食べるよりも学校のほうが会話があることで楽しさを感じる児童の姿が見られた。

「どちらも変わらない」と回答した児童の多くの意見は「家でも学校でも話をしている」「どちらも楽しい」という内容であった。

以上のことから、アンケートⅠの結果とも一致しており、子どもにとって食事の楽しさには「誰かと食べるということ」と「楽しい話題や共通の趣味等の会話がある」ということが大切だといえることがわかる。

③給食の時間の楽しさについて

「給食の時間は楽しいですか」と尋ねた結果を図14に、その理由を表3・4に示した。

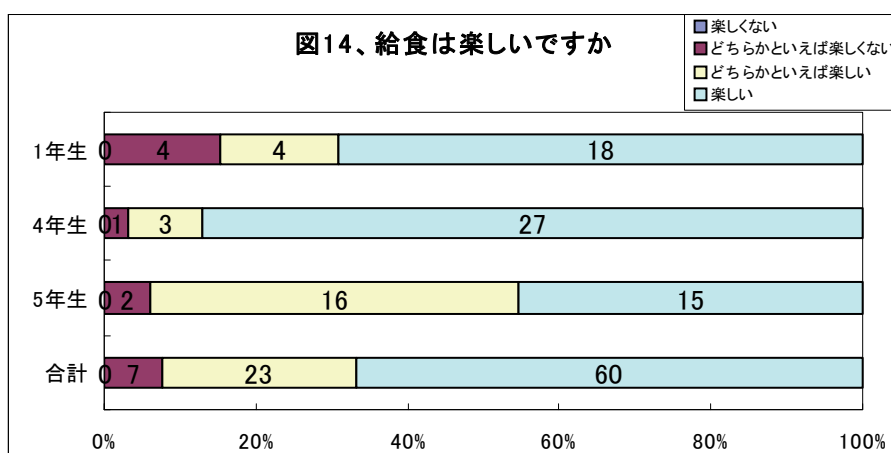


表3 給食が楽しい理由

(名)

給食が楽しい理由(人)	1年生	4年生	5年生	合計
給食がおいしいから	16	14	13	43
お腹がすいているから	4	9	5	18
みんなと一緒に食べられるから	12	25	22	59
いろんな料理が食べられるから	7	10	3	20
栄養バランスがとれているから	8	9	5	22
その他	3	0	1	4
	話をしながら食べられるから		なんとなく	

(複数回答)

表4 給食が楽しくない理由

(名)

給食が楽しくない理由(人)	1年生	4年生	5年生	合計
給食がおいしくないから	0	0	0	0
お腹がすいていないから	1	0	0	1
みんなと一緒に食べるのがいやだから	0	0	0	0
量が多いから	1	0	0	1
給食に嫌いなものがでるから	2	0	2	4
その他	1	0	1	2
	早く食べた子はうるさいから		みんなと話さないから	

(複数回答)

図 14 に示すように、どの学年においても「給食が楽しい」と回答する児童が多く見られた。その理由として「みんなと一緒に食べられるから」「給食がおいしいから」を選択する児童が多かった。この調査結果からも、多くの子どもにとって共に食べることと味の良さが食事の楽しさに繋がっていることがわかる。

「給食が楽しくない」とする児童は 0%であったが「どちらかといえば楽しくない」とするものがわずかではあるがいた。その理由として「嫌いなものがでるから」とするものが 4 名、その他として「早く食べた子はうるさいから」(1 年生) という意見が見られ、この児童は自分に 1 番あった食事形態を無言給食の食べ方と回答している。このことからみんなと話をしながら食べることができる給食の時間ではあるが、静かに食べることを望む児童もいることが伺える。また、「みんなと話さないから」(5 年生) という意見も見られ、この児童は自分に一番あった食事形態をテレビ給食と回答していた。その理由として「テレビを見ている時だと近くの子と話をすることができたから」と回答している。この児童の他にテレビ給食が 1 番あうと回答した児童の中には「班だとあまり話さないけど、テレビを見ているときだと話せたから」という意見や「班で話をしながら食べていてもしゃべらない時があるからテレビを見て食べたほうがいい」という意見が見られ、テレビを見ていると、日頃話し合わなくても共通の話題があることで友だちとコミュニケーションが取れると感じていることがわかる。

テレビをコミュニケーションのツールの 1 つとして用い、人と関わりながら給食を食べることが重要であることを示唆しており、子どもたちが「食事が楽しい」と感じるためには味がおいしいことはもちろんであるが、楽しく会話しながら食べるということが重要であることがわかった。

4. まとめ

本調査より給食を食べる時間について、無言給食の食べ方が他の食べ方よりも早く食べ終わった。児童の感想には「早く食べ終わった分だけ話をしていることがわかった」(5 年生) と理解する姿も見られ、会話がないことで食べることに集中していることがわかった。

無言給食の食べ方は「孤食」に近い状態と考えられる。集中して食べている半面この食べ方で給食を食べることにつまらなさや寂しさ等を感じる児童の割合が特に高学年に多く見られた。また、家では会話をせずに食事をしている児童の姿も見られ、学校給食のほうが友だちとコミュニケーションを図りながら食べることができ楽しさを感じる児童の割合が高かった。しかし一方で、家や学校において話をしないで食事をするを好む児童の姿も見られた。その児童の感想には「しずかだと食事が楽しいから」(4 年生)。「食べることに集中できる」「味わいながら食事することができる」(5 年生) という意見が見られ、食べる時間と話す時間の区別をしっかりとつけたいと考える児童の姿が見られた。

テレビ給食ではテレビに集中するため食べ終わる時間が遅くなってしまわないかと考えていたが「いつもより早く食べ終わった」(4 年生)。「遅くなると思ったけどあまり変わらなかった

た」(5年生)等の意見も見られ、実際には通常の食べ方と比較しても大きな差はみられなかった。給食という限られた時間の中での検証だったが、家庭での食事であれば時間は更に伸びたかもしれない。また、「テレビを見ながら楽しく早く食べることができた」(1年生)。「テレビも話のネタになっていつもより楽しい」(5年生)という意見が多くあるなかで、「みんなといつものように話せなかったので少し楽しくなかった所もあった」(5年生)という意見も見られ、テレビを見ながら食事を食べることは楽しく感じる子どもが多いなか、テレビを見ることでコミュニケーションの機会が減少してしまうと考える児童もいることが分かった。更にテレビの存在は「テレビに集中してしまい味がわからなかった」(5年生)という意見に見られるように、食事の味にも影響を与えることが分かった。

給食の時間が楽しいと回答した児童の理由より、食事におけるコミュニケーションの重要性を伺うことができた。しかし、食事中にコミュニケーションを図りたいとする相手は児童によって異なり、具体的に友人の名前をあげ「(名前)ちゃんと一緒に食べたい」(1年生)。「友だちと共通の話ができる」(4年生)「お母さんに怒られるから学校で食べるのが楽しい」「家族で学校のことを話したい」(5年生)等の意見が見られた。また、調査を通して給食の食べ方を変化させることで、「話をしないことで会話の大切さに気付いた」(5年生)と共食の重要性に気付いた児童や、「一緒に食べる人を変えて食べたい」「音楽を聴きながら食事をしたい」「机で円を作って食べたい」(4・5年生)と、普段とは違う環境で食事をしてみたいと思う児童もいることが分かった。これらのことから、子どもたちが食事を楽しむ要因には、「何を食べるのか」ということだけでなく、「誰と」「どのように食べるのか」が大きく影響しているということが明らかになった。

給食の場合食べる時間が食べ初めから食べ終わるまで時間が決まっており、「早く食べ終わってうれしかった」(4年生)。「給食を時間内に全部食べきれることができて良かった」(5年生)という児童の感想や、自分にあう給食の食べ方を早く食べられるからという理由で無言給食をあげている児童の回答から時間に追われて給食を食べている姿が見える。児童が楽しく食事をするためには給食を食べる時間を十分に保障することや様々なスタイルで食べる機会を提供することが望まれる。児童が様々なスタイルで食べることを経験することで、より豊かな食生活について考え行動することが可能となる。そのための有効な方法を今後検討していきたい。

謝辞

本研究にご協力いただきました知立西小学校の児童・教職員の皆様、西村研究室の皆様に深く感謝いたします。

参考文献

足立己幸, 1983 『なぜひとりで食べるの』 日本放送出版協会.

足立己幸, 2000 『知っていますか子どもたちの食卓 食生活からからだと心がみえる』 日本放送出版協会.

資料1 アンケート調査Ⅰ Ⅱ Ⅲ

給食後のアンケート Ⅰ ・ Ⅱ ・ Ⅲ	
時 分	年 組 番 名前 _____
<p>☆ 給食のメニューについて。</p> <p>(1) 今日の給食のメニューについて教えてください。</p> <p>1、好き ・ 2、どちらかといえば好き ・ 3、あまり好きじゃない</p> <p>4、嫌い ・ 5その他 ()</p>	
<p>☆ 今日の給食の食べ方について。</p> <p>(1) 食べる量はいつもとくらべてどうでしたか。</p> <p>1、いつもより多く食べた ・ 2、いつもより少なく食べた</p> <p>3、いつもと変わらない ・ 4、その他 ()</p>	
<p>(2) 食べるのにかかった時間はいつもとくらべてどうでしたか。</p> <p>1、いつもより早く食べ終わった ・ 2、いつもより遅く食べ終わった</p> <p>3、いつもと変わらない ・ 4、その他 ()</p>	
<p>(3) 食べた時の雰囲気はいつもとくらべてどうでしたか。</p> <p>1、いつもより楽しく食べることができた ・ 2、いつもより楽しくなかった</p> <p>3、いつもと変わらない ・ 4、その他 ()</p>	
<p>(4) 給食の味はいつもとくらべてどう感じましたか。</p> <p>1、いつもよりおいしく感じた ・ 2、いつもよりおいしくないように感じた</p> <p>3、いつもと変わらない ・ 4、その他 ()</p>	
<p>(5) 今日食べた給食の感想を自由に書いてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	

資料2 アンケート調査Ⅳ

最終日に調査する項目	
年 組 番 名前 _____	
<p>(1) いろんな食べ方で給食を食べましたが、自分に1番あうと思った食べ方はどれでしたか。1つだけ番号に○をつけ、その理由を記入してください。</p> <p>1、班で机をあわせ話しをしながら食べる食事。</p> <p>2、机を全て黒板に向け誰とも会話せずに食べる食事。</p> <p>3、テレビを見ながら食べる食事。</p>	
理由	
<p>(2) 今まで食べた給食の食べ方以外で、食べてみたい食べ方はありますか。</p> <p>1、ある ・ 2、ない</p>	
<p>(3) (2)で「ある」と答えた人に質問です。</p> <p>その食べ方を下の欄に書いてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>	
<p>(例) 音楽を聞きながら食べたい。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>	
<p>(3) 給食の時間は楽しいですか。1つだけ○をしてください。</p> <p>1、楽しい ・ 2、どちらかといえば楽しい ・ 3、あまり楽しくない</p> <p>4、つまらない</p>	
<p>(4) (3)で「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と答えた人に質問です。それはどうしてですか。あてはまるもの全てに○をしてください。</p> <p>1、給食がおいしいから</p> <p>2、お腹がすいているから</p> <p>3、みんなと一緒に食べられるから</p> <p>4、いろんな料理が食べられるから</p> <p>5、栄養のバランスがとれているから</p> <p>6、その他 ()</p>	

(5) (3) で「あまり楽しくない」「つまらない」と答えた人に質問です。それはどうしてですか。あてはまるもの全てに○をしてください。

- 1、給食がおいしくないから
- 2、お腹がすいていないから
- 3、みんなと一緒に食べるのがいやだから
- 4、量が多いから
- 5、給食に嫌いなものがでるから
- 6、その他 ()

(6) 普段家で食べる食事はどんな食べ方が多いですか。
朝食、夕食ともに1つだけ番号に○をつけてください。

☆ 朝食の食べ方。

- 1、話をしながら食べる ・ 2、テレビを見ながら食べる ・ 3、何もしないで食べる
- 4、ラジオやCDを聞きながら食べる ・ 5、新聞や本・雑誌を見ながら食べる
- 6、考え事をしながら食べる ・ 7、その他 ()

☆ 夕食の食べ方。

- 1、話をしながら食べる ・ 2、テレビを見ながら食べる ・ 3、何もしないで食べる
- 4、ラジオやCDを聞きながら食べる ・ 5、新聞や本・雑誌を見ながら食べる
- 6、考え事をしながら食べる ・ 7、その他 ()

(7) 家で食べる食事と学校で食べる給食では、味に違いはありますか。
1つだけ○をつけ、その理由を記入してください。

- 1、家のほうがおいしい ・ 2、学校のほうがおいしい
- 3、どちらも変わらない ・ 4、その他 ()

理由

(8) 家で食べる食事と学校で食べる給食では、楽しさに違いがありますか。

1つだけ○をして、その理由を記入してください。

- 1、家のほうが楽しく食べられる ・ 2、学校のほうが楽しく食べられる
- 3、どちらも変わらない ・ 4、その他 ()

理由

(9) 家で食べる食事と学校で食べる食事では食べる量に違いはありますか。

1つだけ○をして、その理由を記入してください。

- 1、家のほうがたくさん食べることができる
- 2、学校のほうがたくさん食べることができる
- 3、どちらも変わらない
- 4、その他 ()

理由

以上で質問を終わります。ありがとうございました。